



清流

発行 熊本県上益城郡甲佐町大字岩下194 甲佐町議会 ☎(096) 234-1111 編集 議会広報編集特別委員会

主な内容

- 上益城広域連合設立へ！ 2
- 商品券は3,900人が対象 3
- あなたにかわり町の考えを聞く 4～7
- 一般質問 4人
- これだけは聞いておきたいQ & A 8～9
- 傍聴席から一言・議会だよりコンクール入選 10

12月定例会

12月定例会は、12月11日から16日までの6日間の会期で開かれ、平成9年度一般会計ほか5特別会計の決算認定や平成10年度各会計補正予算をはじめ、上益城広域連合の設置議案、請願・陳情など26議案を審議、熱心な質疑が行われた結果、提案された議案はすべて原案のとおり可決された。

四月よりスタート予定

上益城 広域連合設立を可決！

介護保険の認定は広域連合で審査

本町議会では、上益城広域連合設立の規約を十二月議会において可決した。

これは上益城郡六町村の各議会において同時提案されたもので、今年四月一日の発足を目標して郡内六町村のすべて議会で可決された。上益城広域連合の主な仕事は、平成十二年から始まる介護保険の介護認定の審査、郡内役場職員の共同研修や広域的な課題についての調査研究を実施する予定である。

県の設立許可を受け四月に発足すると執行機関として、六町村長が連合長（一人）副連合長（五人）に就任する。収入役は六町村の収入役から選任、また議員定数は十二人で構成され各町村議会より二人ずつ選任されて広域連合議会も発足する。事務所は当面、嘉島町役場に隣接した嘉島町福祉センター内に置く。

10年(1998年)12月23日 水曜日

上益城広域連合発足へ

全6町村
規約可決
来月設立許可を申請

上益城郡六町村の各議会は十二月までに、来月四月一日の発足を目標として、上益城広域連合の規約案を可決した。来月一月中に県へ設立許可を申請する予定にしており、許可されれば「菊池」に続き、県内三番目の広域連合となる。

広域連合の正式名称は「上益城広域連合」とし、執行機関として、六町村長が連合長（一人）、副連合長（五人）に就任する。収入役は六町村の収入役から選任、また議員定数は十二人で構成され各町村議会より二人ずつ選任されて広域連合議会も発足する。事務所は当面、嘉島町福祉センター内に置く。

上益城郡内六町村は今年三月、上益城広域連合設立準備委員会を設立し、規約案などを検討してきた。

「新生児にせっけん」市民団体が要望書

水俣市長に

水俣市の「水俣せっけんばらむる会」（谷口カズ子会長・十岡保・五十個人）

一般会計補正予算

地域活性化に生かせ!!

地域振興券(商品券) 3,900人が対象

3月下旬より振興券発行

平成10年度 一般会計補正の主なもの

庁舎書庫・倉庫・プレハブ整備費	262万円
地域振興券交付事業費	8,565万円
合併浄化槽設置補助金(30基)	1,227万円
リサイクル対策費	381万円
農業振興費	119万円
こぞって運動林業推進事業補助金	100万円
町道改良工事費	2,169万円
白旗小学校環境整備基本構想策定費	620万円

12月議会において地域振興券(商品券)の予算が可決された。予算総額は8,565万円(千円券20枚)の振興券が3月下旬より町から交付される予定である。本町における対象者数は3,900人程度が見込まれている。

使用方法は甲佐町内に限り認められる予定であり、届けにより登録された店でのみ使用ができる。

平成9年度

国民健康保険会計

水道事業会計

住宅新築資金会計

一般会計

老人健康保健会計

有線放送会計

甲佐町会計別決算総括表

(単位 円)

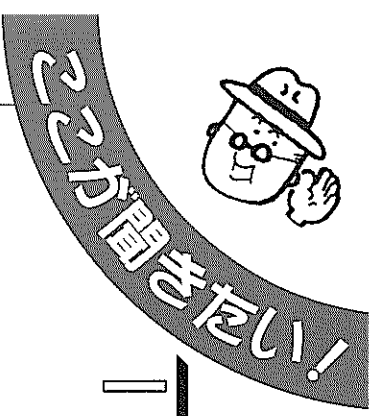
会計別	歳入	歳出	差し引き
一般会計	5,609,143,151	5,429,319,515	179,823,636
国民健康保険特別会計	1,358,729,395	1,206,560,768	152,168,627
老人保健特別会計	2,324,613,264	2,311,511,509	13,101,755
有線放送特別会計	48,325,880	39,188,747	9,137,133
住宅新築資金等貸付特別会計	5,384,597	5,364,816	19,781
総合計	9,346,196,287	8,991,945,355	354,250,932

(決算審査意見)

- 城平山の土地売買については昭和52年3月に当初契約を締結して20年を経過した現在においても、まだ解決していない。本件は長期になるほど問題が多岐にわたり拡散するおそれがある為、早急に解決策を講じるよう望む。
- 国県への繰越し手続きのミスにより事業廃止になった町道改良事業の24,751,700円が多額の不用額となっている。今後は再発防止に向けて執行並びに管理体制の充実を望む。
- 本町の繰越事業は平成8年度より平成9年度にかけて18件、平成9年度より平成10年度にかけて10件と郡内町村と比較して大幅に多い。予算の執行は年度内の計画と敏速な対応を行い、出来る限り繰越事業の減少に努めることを望む。
- 平成7年12月策定の甲佐町行政改革大綱の取り組みは進んでいない。国県において厳しい財政状況が見込まれるなか、本町の行財政改革に向け本格的に取り組むことを望む。
また、職員の定員管理計画の策定にあたり臨時職員、非常勤職員の位置づけ、臨時職員と非常勤職員の採用にあたり期間、賃金、待遇など適正か否か検討を望む。
- 本町は各種団体、イベント等に対して多くの補助金を支出しているが、その運用にあたっては社会の変遷に伴い、時代に即応しているのか、必要性があるのかなど事業内容を見直し、産業や文化の振興育成へ向けて取り組む時期に来ていると思われるため検討を望む。
- 本町の公共工事施行にあたり工事中および工事完成後において、技術的に勘案して配慮にかかる箇所が一部見受けられる。平成8年度決算審査特別委員会報告書に指摘してあるが、今後も発注者側は常に住民の立場で細心の注意をもって指揮監督にあたることを望む。

決算認定なる!!

平成9年度一般会計並びに各特別会計の決算認定は、去る9月定例会において決算審査特別委員会が設置され閉会中の継続審査にされていた。委員会で4日間にわたり審査を行い、12月定例会で6件の意見を付した決算結果を報告し、本会議において委員会報告のとおり認定することに決定した。



一般質問

答弁

第4回定例会の一般質問は12月14日に行
い、4人の議員が登壇、町の施策をただし
た。

庁舎基金の取り崩しで 活性化を

北畑常博議員

取り崩しは難しい

町長

北畑議員

庁舎建築基金が5億円程
あれば、3億円程取り崩し、
県や国の助成や借入金に
よって30億円以上の事業が
できるのではないかと。道路
等につき込めば町の活性化
につながり、矢部土木事務
所管内でも遅れている事業
を取り戻すことができはし
ないか。また甲佐町は財政
が豊かと県から見られてい
るので県の代行事でもでき
ないのではないかと。

町長

基金は目的があつて積み
立てているので基金を取り
崩して道路を作ることは難
しい。町の財政は悪い時代
が続いたが、最近はい前よ
り財政事情はよくなってい
る。道路についてはなるべく
町の一般財源を持ち出さ
ず、国や県を利用したい。
町道においても年次計画を
しながら、生活関連の道路
の整備を行っている。
代行事についてはなか
なか進んでいない。

大井手川の改修は 町に関係ないのか

北畑議員

県工事で進められている!!

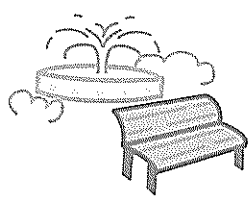
町長

北畑議員

大井手に
ついては緑
町から上は
国道の改良
で国からの
事業で行え
ないか。ま
た緑町から
下はなぜで
きないのか。
県工事なの
で町は関係
ないのか。

町長

水環境整備事業で県営事
業として平成10年に国から
の採択を受け現在、甲南通
りを改修している。平成11
年にやな場の公園、12年に
下流の甲佐高校までを計画
している。
国道との関係は、国、県
で話し合われている。



地方債によって着々と工事が進む町道岡口学校線

保健福祉センターで 町民のプラスになるか

北畑議員

健康活動の拠点としたい

町長

北畑議員

保健福祉センターを作つ
たからといって病院が空に
なるわけでもない。何億円
もかけてそれが果たしてプ
ラスになるのか。お金が
入ってくることを前提とし
て考えなければ行き詰まる
と思うが。

町長

保健福祉センターは病院
と性格が全く違い、病気に
ならないための健康チェッ
クとか栄養指導とか子供か
ら成人まで皆さんが利用し
て健康になっていただくた
めの施設で、その拠点とし
たい。



県営事業として着々と工事が進められている大井手川
(岩下一区・緑町地内)

活力ある住みよい町づくりは

佐藤義郎議員

住民の方々が夢を持てる町づくりを

町長

佐藤議員

町長は来期も出馬される
とのことですが、21世紀に
向けての甲佐の「活力ある
住みよい町づくり」にどの
ような抱負と具体策を持っ
ておられるのか。

町長

快適環境の中で、将来い
かに住民の方々が夢を持て
る町づくりが大事である。
具体的には、甲佐町は緑

川を持つ町で、一番目はそ
れを大事にしてゆく町に。

二番目は高齢化時代にふさ
わしい福祉行政の確立を。

三番目は優しい心、思いや
りの心を持った子供が育つ
教育を。四番目には農業の

基盤整備並びに意欲の持て
る農業政策が必要である。

五番目は保健活動であり高
齢化社会との関わりを持つ
て健康活動を推進して行く。

六番目は安全対策で様々な
防災、火災等の対応をして
いく。

職員 の 給与について

佐藤議員

特別昇給の中で 実施している

町長

佐藤議員

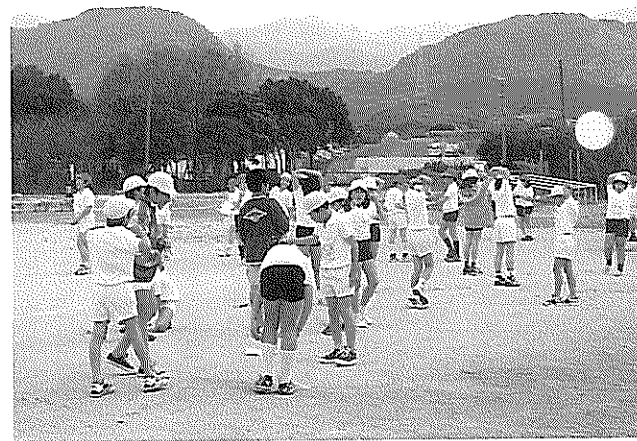
甲佐町の職員のラスパイ
レスは熊本県で下から4番
ということだが、給与がそ
ういう状態だから、職員が
町民のために仕事をやるう
と思ってもできないのでは
。また三年前から周辺町村
並と言っているがどうなっ
ているのか。

町長

H9年度から給与制度及
び運用の範囲内で、特別昇
給の下に改善に取り組んで
いて、これはH11年までの
計画である。

総務課長

定期昇給は年一回ですが、
他に特別昇給の中で取組が
でき実施している。



楽しい学校づくりが進む甲佐小学校

学校教育に関する 意識調査の対策は

佐藤議員

某新聞の報道に依ると文
部省の調査で、学校教育に
関する意識調査で、高校生
は七割、中学生は五割、小
学生は三割が授業がわから
ないとなっているが、本町
の対策はどうやっておられ
るか。

教育長

中学校の例として、普通
の授業の他に授業の習熟度
を試すためにテストがある。
学習が理解できない生徒は
幾度も勉強を教えながらテ
ストしている。担任、教頭、
校長等によってマンツーマ
ンのな補充授業を週一回程
度実施している。

佐藤議員

時間外の補充授業の手助
けとして、熱心な人々の協
力を願い、その経費を予算
化すべきではないか。

町長

教育長と研究してみる。

学校教育問題について

佐藤議員

楽しい学校にする努力を

教育長

学校の荒廃と 不登校について

佐藤議員

最初に、学校の荒れとい
うのが問題になっているが、
教育委員会の具体策を。次
に不登校問題で、先生を始
め関係者が大変努力されて
不登校の子供達の立ち直り
のさざしがみえてると聞く
が詳細に説明を。

教育長

対症的な方法として
夏の間中学生の問題行動と

が増えている。

町政執行者として本町の現状をどう認識するか

西坂親議員

健全財政を心がけている

町長

西坂議員

町長は二期八年間町政執行者として努力して来られたと思うが、現在の甲佐町の状況をどのように捉えているのか？特に、農業、商業等をはじめ産業面、人口の推移、それから将来の展望、さらに、激動する政治経済の中で、今後どのような町づくりに取り組んで行

くのか？

町長

就任以来、当町の状況を把握しながら、健全な財政運営を心がけて今日までやってきたが、現在平成不況と言われる中、高齢化、少子化がより進んでいるその中で、環境問題、福祉問題に対しても認識を新たにしたい。

町長就任以来 2期8年目の政策は？

西坂議員

道路網の整備、保健福祉の策定、産業、教育の振興に力を注いできた

町長

西坂議員

町長自ら自分の理念として、町の政策に取り入れ、関係各町、国、県等に働きかけて生み出した政策であると自負される政策を具体的に挙げてもらえば、議会の立場が明らかになると思うが。

町長

平成五年より、町村間で結ぶアクセス道路の整備については、国、県に働きかけ道路網の整備を行ってきた。又、保健福祉基本計画の策定を行い、ホームヘル

パー、シルバーヘルパー等の体制を整え介護支援を行

西坂議員

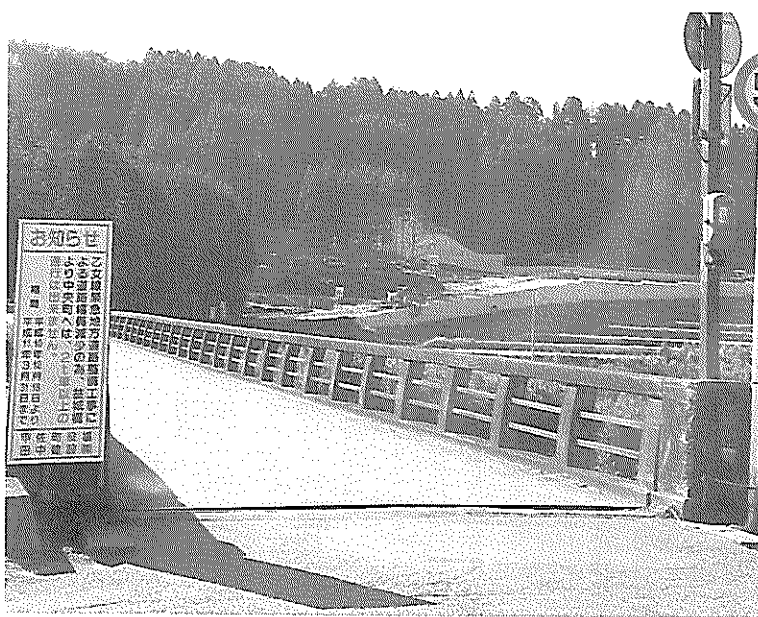
い、教育については、甲佐中の柔剣道場の建設によって学校教育の活性化を図り、農業については、生産高を誇る花卉園芸を支援してき

町長

たし、ニラ生産では生産額が一億円を突破する様な結果が出ている様に農業への支援を行った。商業振興については、大井手川の改修が現在行われているが、国土庁にお願いして、水環境の整備事業が始まったと思

町長

う。その他色々な面に努力



県代行事業に望みをかける町道岩下益城橋線改良工事 (益城橋より中央町を望む)

激動する政治行政の理念は？

西坂議員

町民のニーズに応えたい

町長

西坂議員

激動する社会情勢の中で今後の町政にどう取り組むのか？又どの様な政策を持つているのか？

町長

不安定な経済状況の中で心配しているのは歳入であり、限られた財政の中で介護保険がスタートするが、重点事業に順位をつけて絞り住民ニーズに応えたい。

西坂議員

環境、福祉、教育、これらのことは、当然しなければならぬ業務であると思うが、町長には町民のニーズが聞こえていないのではないかと思うし、もう少し町民に夢と希望を与える町づくりに取り組むべきだと思

町長

うが？

町長

夢と希望を持てる町づくりの原動力とならなくてはならないと思うが、環境、福祉は形として現れないので、評価してもらえないわ

けで、諸問題を時間をかけて進めたい。

西坂議員

町道益城橋岩下線の代行事業について陳情に土木部に行ったが、その折、県の事情でトンネルとか橋とか大きなものでないと国の補助がつかず、今後、甲佐町で進めている補助事業を進める以外方法はないとの、土木部長よりそのような答えがあったが、町長はその事を議会において報告すべきではなかったのか、さらに町の負担を軽減しながら道路を完成させるか、考えているのか？

町長

益城橋岩下線については土木部長より、代行はできないと言われたが、諦めないで、いろんな事をクリアしながら、要望して行きたい。

行政に予算の無駄使いはないか 仲原正之議員
公用車・特別職の給与、
今後の研究課題に！
 町 長

仲原議員

町の予算執行に当たって無駄使いはないか。

具体的に言うなら、まず公用車の台数について、その台数を半分にはできないか。又特別職、町長、教育

長、議長の給与を10%カットして町の為にと言う考えはないか。

町長

公用車については、各課で無駄を省く良い方法を研究中である。

特別職の給与については、郡内各町村の均衡を図り、審議会の答申を経ているが、研究をして行きたい。

総務課長

公用車は全体で59台ある。その中に消防車が28台あり、残りが31台あるが、その中に特定目的の車が10台(ダンプ・グレーダ・福祉の車等々)あり、残り21台が一般業務用として使用中である。無駄のない利用を考えていきたい。

町民ひとりひとりの健康について考える時、町としては重大な責任があると思う。保健課長の人事異動は近年は特に激しい。他の課長に比べ特に長期間の在籍が必要と思う。町民の健康について質問したい。

国民健康保険の平成9年度は44万9,132円、これは県下で8番目に高く、

老人医療も100万4,311円で県下で9番目と高い状況にある。又、子供の健康状態も以前に比べて、非常に悪くなっている。住民検診でも40代、50代の受診率が低くなっており、地域ぐるみの健康づくりが必要と思われる。健康に無関心な若い世代、子供から老人まで、そして若い40代、50代を含めたスポーツや遊びでも必要と思われる。



町民の多くに一番親しまれているビーチバレー(甲小体育館)

町民の健康については心配ないか 仲原議員
子供と若い世代の健康づくりを
 保健課長

仲原議員

町民ひとりひとりの健康について考える時、町としては重大な責任があると思う。保健課長の人事異動は近年は特に激しい。他の課長に比べ特に長期間の在籍が必要と思う。町民の健康について質問したい。

国民健康保険の平成9年度は44万9,132円、これは県下で8番目に高く、

老人医療も100万4,311円で県下で9番目と高い状況にある。又、子供の健康状態も以前に比べて、非常に悪くなっている。住民検診でも40代、50代の受診率が低くなっており、地域ぐるみの健康づくりが必要と思われる。健康に無関心な若い世代、子供から老人まで、そして若い40代、50代を含めたスポーツや遊びでも必要と思われる。

甲佐大橋から国道218号線迄の計画は
 仲原議員
平成12年度
採択を受ける
 耕地課長

仲原議員

甲佐大橋の工事が進んでいる。

松橋方面への計画が、どのようになっているか。

耕地課長

麻生原地内県道今吉野甲佐線から、世特の集落の上を通り、産廃の中間処理場の下、さらにゴルフ場の横を抜け、中央町との境、西山時に行き、西山の集落の東側を通り、町道大沢水・西山線をさらにホテルの下から国道218号線迄、総延長5.2キロになる。

平成12年度に、採択を受け、申請事業費14億8,000万円で、一応スタートをしたいと考えている。完成予定は着工から最低10年かかる。

さんじ休憩



頑張れ

議員さん!

宮内小学校から4名の児童が12月議会の傍聴に訪れた。これは学校で学ぶ社会科の勉強のための見学で、「議会の組織」や「議会とはどんなものか」自分たちの目で見て学ぼうと毎年訪れている。

某議員の弁「俺たち議員は子供達の模範にならなにかんあ」



これだけは まいておきたい

今期提案された条例2件および各会計補正予算案について審議がなされ、以下審議の論点を要約してお知らせします。

論点

条例・予算審議より

Q & A

保健福祉センター 建設計画は

Q 1

保健福祉センターのレイアウトを見ると施設内に入浴場とサウナが設置される様な計画だが、施設の目的からするとサウナについては目的にそぐわない気もする。また近隣町村の温泉センター等もあり、採算面も考えなければならぬ。その点どう考えているのか。

A 1

憩いの家の浴室は老朽化したため取り壊し、新たに福祉センター内に配置するものである。指摘された採算面についても十分合う様な計画で考えている。

Q 2

浴室が保健福祉に関係するとは思えない。むしろ健康維持には温水プールを建設した方が効果があると思うがどうか。

A 2

プール建設となると土地の問題もあり、憩いの家に設置されていた浴場の移設という事で御理解願いたい。

Q 3

保健福祉センターは、かつ子クラブやスポーツ関係の利用もできるのか。

A 3

町内のスポーツ愛好者等、すべてのグループも利用できる。

Q 4

福祉センター建設で医療費高騰に歯止めはかかるか？

A 4

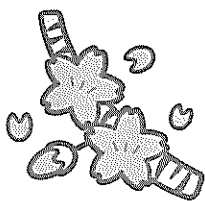
保健福祉センターの建設により医療費の削減や浴室の入場者等について検討されたのか。

A 4

積算ができ次第明確な報告をしたいと思うが平成10年から11年にかけては、需用費、委託料、使用料、賃借料等の維持管理費として一千万円を見込んでいます。



医療費高騰に歯止めがかかるのか
(保健福祉センター予定地)



旧農協支所の利活用が今後のぞまれる(旧宮内事業所)

農業旧支所の 利活用を!!

Q 5

農協支所の統廃合に伴い支所跡の施設を利活用する考えはないか。

A 5

NPO、介護保険でも校区での拠点が必要であるので前向きに考えたい。

職員定数削減 計画をどう考える？

Q 6

役場職員の給与は県内で下から四番目に低いと聞いている。職員数を削減して給与アップを図ったらいかがか。

A 6

職員数は定数164名だが現在は153名で11名の減を図った。今後の行政改革に向けて定数の削減と是正に対して考えてみたい。



**町道坂谷線の
通行止が解除に!!**

Q 7

町道坂谷線の崩土箇所については交通規制になっていたが現在迄の復旧状況はどうなっているか。

A 7

山腹の法面部分については県工事に対応され工事も完了している。道路部分は町で対応し、土砂の除去は完了したので擁壁と防護柵工事を今回の補正予算に提案した。なお、道路は現在通行できる様になっている。

**白旗小環境整備
基本構想を策定!!**

Q 8

白旗小学校の環境整備基本構想の内容をたずねる。

A 8

白旗小の体育館、プールは旧緑川中学校の施設を利用してするため老朽化している。それらの改築やパソコン教室の増築、グラウンド前の用水路、駐車場を含めた環境整備の基本構想を考えている。

開通した町道坂谷線、次は防護柵に着工を急げ!

**合併浄化槽の
補助率が引下げへ**

Q 9

合併浄化槽の補助金の交付基準が変更されたと聞かされた。どのような内容か。

A 9

今回、30基分の追加補正を提案しているが、補助単価が平成10年から下がり、8人〜10人槽が51万9千円、6〜7人槽、41万1千円、5人槽、35万4千円に引下げられた。

研修報告

緑川の清流を取り戻せ!

埼玉県・下久保ダムを視察

本町議会では、11月10日から12日にかけて県選出国會議員に対する「緑川ダム選択取水施設の設置に関する陳情」と埼玉県にある水資源公団が管理する「下久保ダム」の選択取水施設の視察研修を行いました。

群馬県と埼玉県との県境にある下久保ダムは、昭和43年に多目的ダムとして完成し、洪水調節、農業用水の確保、東京都へ水道水の供給や発電と広範囲に活用されて来ました。

しかし、ダム湖水での水温に温度差が大きく、放流された冷水が、月中旬の下流域の稲の成長時期に多大な冷水被害を与え農家にとっては大きな減収となっていました。その対策として湖水としてダム湖水の温度の高い箇所から放流できるように選択取水施設を設置し水稲の冷害が解消されています。

本町では緑川の汚濁水対策が大きな問題であります。



埼玉県の下久保ダムを視察する議員一同

改修に向けて1歩前進白旗小環境整備基本構想を策定。

緑川ダムを管理する建設省では緑川の汚濁水放流の解決策として、ダム湖水の中で一番きれいな水を選択して放流できるように上下移動式の半円形シンリンダーゲートを設置して洪水時の濁水解消に対する計画が進められています。工事費用は約50億程度と言われていますが、平成12年度より着工する予定で計画が進んでいます。本町議会では、それに類似する施設を視察し、その支援策として国會議員に強く陳情致しました。

傍聴席から一言

車椅子が泣いている

ー 抜け落ちたネジー

渡辺 禎子 (緑町)



ゴロゴロと簡易舗装の道路を押してゆく私の手首に伝わってくる強い振動。

N 歯科医院まで治療に通い始めて一ヶ月余り、義父には楽しい散歩になるはずでした。

しかし、押す私は一生懸命なのに、乗っている本人は体に伝わるイヤな音に悩まされる結果となりました。

もう理解して戴けたことでしょうか。道路の整備が不十分だからです。「あしたから郵便局の前まで直進して熊日販売店の所でまがろうか」と義父。

教栄寺のある裏通りを使って車の往来が激しい本通りをさけていたのですが、こう揺れてはたまったものじゃないと感じたからでしょう。「カラー舗装も結構ゆれるけど簡易舗装ほどじゃないでしょうから」と私。

バイパス通りも歩道は片さがりで車椅子がななめになり押してゆくの困難です。

こうして書きあげてみると、車社会の世の中が歴然としているこの頃です。

車椅子の利用者はほんの少数と言えばそれまでですが、ぜひ、検討して戴けないものでしょうか。

三度目の通院から帰宅してブレーキをささえているネジがはずれていることに気がつきました。ひどい揺れで脱落したのでしょうか。

急いで引き返してみました。緑石堂付近でネジを見つけ出した時の安堵感「よかったあ〜」と自分に言い聞かせた一日でした。

何ごととも経験してみて初めて解る、この想いをそえて託します。

熊本県町村議会広報コンクール
議会だより「清流」

さらに

レベルアップ!!

入選



さらにレベルアップを目指す編集メンバー

甲佐町議会だより「清流」が平成10年度熊本県町村議会広報コンクールで入選し、11月5日熊本県自治会館において表彰を受けた。

本町議会の議会だよりは昭和52年に第1号を発刊し20年間にわたり発刊してきました。今回の入賞は編集委員会が町民に対し議会の状況をより分かり易く伝える紙面づくりに努めて来たことが評価されました。

編集委員会では今回の受賞をステップとして「議会だより」が町民により親しまれ、町民が参加できる紙面づくりに努力して行きたいと思えます。今後とも皆様の御協力をお願い致します。



鹿児島からようこそ

鶴田町議会・本町の広報を研修

平成10年11月30日に鹿児島県鶴田町議会から議会広報の研修に来町された。

「手にとって、読みたいなら」議会広報を目指して更に活性化が叫ばれている。今、全国的な傾向として開かれた議会からの情報を広報紙によって、いかに町民に伝えるか、議会広報紙のレベルアップについて活発に意見交換が交わされた。今後、もっと広報紙編集の研修が活発化しそである。

編集後記

本町議会だより「清流」が熊本県町村議会広報コンクールで入選の荣誉に輝いたことは、編集委員の4年間にわたる研究、努力の集大成ではないだろうか。

これは何よりも編集委員のチームワークがすこぶる良かった。編集に苦労したこともあったが、毎回笑いがたえず、楽しい編集作業でもあった。非情にも我々議員は1月31日に4年に一度の町民の審判を受けなければならぬ。

この「清流87号」が発行され、皆様の茶の間に届く頃には新しい議員が誕生していると思う。次号からは新たな気持ちで町民の皆様に関心される「議会だより清流」の発行に心掛けた。

寒耐えて

春待ち望む

受験生



発行

甲佐町議会広報編集特別委員会